

「未来高岡」ステップアップトーク（定塚地区）会議記録 <要旨>

- 1、日 時 平成 28 年 8 月 31 日（水） 午後 7 時 30 分から 8 時 30 分
- 2、場 所 定塚公民館
- 3、出席者 市民 38 名（うち女性 7 名）
高岡市 市長、経営企画部政策監、広報統計課長
- 4、会議次第
 - (1) 高岡市総合計画基本構想の紹介
 - (2) 参加者との意見交換

.....

(1)高岡市総合計画基本構想の紹介

(2)参加者との意見交換

参加者

- ・新高岡駅でお土産を買おうと思っても買うお店がない。また、高岡駅では、市営駐車場に駐車して買い物をしようと思っても無料となる駐車時間が 20 分しかないため余裕をもって買い物ができず、以前より品揃えも減っている。これでは駅の利用者が減る一方であり、利用者が便利に買い物ができるようにしてほしい。

市長

- ・新高岡駅のおみやげ処は主に新幹線利用者を対象とした品揃えにしており、数は多くはないが、高岡の工芸品などを揃えている。
- ・現在、新高岡駅の周辺では市街化区域¹への編入を進めている。スポーツコアの近くまで開発できるエリアを広げようとしており、民間主導で商業店舗が増えることを期待している。

参加者

- ・高岡駅前東地区の整備に関する進捗状況を教えてほしい。また完成時期はいつ頃なのか。
- ・平成 26 年 4 月号の「市民と市政」に掲載されていた「高岡駅前東地区整備基本構想」の中で、当該地区をそれぞれ A, B, C の 3 つのゾーンに分けて説明されていたが、その中には看護専門学校は含まれているのか。また、同地区に飲食施設はできるのか

¹ 既に市街地を形成している区域及び概ね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。

市長

- ・ 日常的に利用者が多い高岡駅周辺を整備していくため「高岡駅前東地区整備基本構想」を策定するに至った。現在、駅のそばに看護専門学校が入居する建物を建設中で、来年 4 月にオープンする予定である。また、その少し東側にホテルが建設される予定であり、駅のターミナルのそばには富山銀行本店が移転して建設されることとなった。まずは、行政が主導し開発を進め、その後、できれば民間による開発が進んでほしいと考えている。一方、末広町では民間による再開発の話が出ており、建物が完成すれば店舗兼マンションになるとのことである。これがきっかけとなり、末広町エリアや御旅屋町に波及してほしい。

高岡駅前東地区は約 5 ha の広い範囲であり、段階的に開発が進んでいく。看護専門学校が入居する建物だけでなく、現在、建設予定のホテルも来年春にオープンする予定である。富山銀行の本店はそれより 2、3 年程あとになるのではないかと。末広町の再開発については、今年、既存の建物の解体に着手すると聞いており、その後 2 年程はかかるのではないかと。地権者との話がまとまれば、高岡駅周辺で何か動きがでてくるのではないかと考えている。

新高岡駅周辺だけでなく、高岡駅周辺や中心商店街の活性化のため地元の方々の積極的なご協力をいただきたい。

- ・ 平成 26 年 4 月号の「市民と市政」に掲載している「高岡駅前東地区整備基本構想」の中には看護専門学校も含まれている。なお、高岡駅そばにあるホテルアルファワンはそのまま営業を継続し、隣接しているデュオビルは建物が古くなったので解体し、その跡地に看護専門学校が入居する建物を建設中である。

看護専門学校については、もともと市内に、高岡市民病院、厚生連高岡病院、高岡市医師会による 3 つの看護専門学校があったが、それぞれ 20 人～30 人規模の小規模なものだったことから、これらを統合することで、120 人規模の学年が 3 学年となり 360 人を超える規模の学校となる。

参加者

- ・ 古城公園内には市民体育館や市民会館、博物館などの公共施設があるが、市民体育館はスポーツコアに移転し、市民会館は耐震構造や音響に問題があると聞いている。公共施設に維持管理費がかかるのは分かるが、将来的に古城公園内の施設はどのようになるのか。公園内にある施設の移転後の跡地の活用方法など、今後の古城公園の構想について教えてほしい。

市長

- ・ 市民体育館は老朽化しているので、スポーツコアに新体育館を建設した後は解体することとなると考えている。跡地の活用については、建物等を造ることは今のところ考えてい

ないが利用者に楽しんでいただけるようにしたい。市民会館についても課題はあるが、呉西地区で一番収容人数が多い施設であり、いろいろな点に気を配りながら文化の中心として活用していきたいという方針である。音響についても問題はなく好評いただいている。古城公園は、城の形が素晴らしいという点で一つの文化財である。明治時代以降、いろいろな形で利用されてきたが、今は原点に立ち戻り、もとの姿に復元していこうという方向で議論が進められている。公園内に新たな施設を造ることは考えていないし、ただちに既存施設を廃止することも考えていない。年度内には計画を策定し、基本方針を示しながら将来のありかたについて議論していく。

参加者

- ・以前「市民と市政」に、万葉線の延伸に関する構想の記事が掲載されていたが、現在の進捗状況はどうか。

市長

- ・万葉線の延伸については、高岡市総合交通戦略の中で将来的な可能性として示したものであり、鉄道を活用した交通網を考えていきたいと思っている。駅南方面に延伸し、清水町を經由して城端線に通すという案や、昭和町方面へと延伸する案、能町方面から伏木地区へと延伸する案などいくつかの案が出ており、採算性などの課題はあるが、将来的に検討していきたい。なお、路面電車のため道路交通の点でも課題があり、道路が混む箇所についてはどのように通していけばいいかなどの課題もクリアしなければならない。

現在、城端線と氷見線の直通化について研究している。線路をつなげることは可能と聞いているが、採算性についての課題をクリアしなければならない。直通化については現実的な課題と捉えており、それが実現してから、万葉線の延伸という課題に移っていけるのではないかと考えている。

新幹線が開業し、本市にとってプラスとなる要素が生じていると感じており、市街化区域を広げ、商業地として活用できることで民間資本を呼び込み、新幹線の開業効果を十分に活かしていきたい。また、新高岡駅から、高岡駅、末広町や山町、金屋町と続くルートを軸に交通網を整備することで、にぎわいが生じるようなまちづくりを進めていきたい。